

Do!

2023.SUMMER

7月号

VOL.481

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02_03_教員座談会企画_夏休みの過ごし方

04_05_学生記者企画_獨大生の日常

06_仕事の現場から

07_インタビュー企画_
キャリアセンターオススメ!
「夏休みの過ごし方」

夏休みの過ごし方



獨協大学の学生が夏休みを有意義に過ごすきっかけとなるように、夏休みの過ごし方について先生方のご経験やご意見を伺いました！先生方の声を参考に、何かに挑戦したり、自分の目標を見出すきっかけにしてください！！



田中 善英教授 (Tanaka Yoshihide)
■外国語学部フランス語学科
■専門分野：フランス語学



岩田 安晴教授 (Iwata Yasuharu)
■経済学部経済学科
■専門分野：日本経済論、マクロ経済学



司会進行 岡垣 知子教授 (副学長) (Okagaki Tomoko)
■法学部国際関係法学科
■専門分野：国際政治学、International Politics



堀川 宏専任講師 (Horikawa Hiroshi)
■国際教養学部言語文化学科
■専門分野：西洋古典学



常石 史子准教授 (Tsuneshi Fumiko)
■外国語学部ドイツ語学科
■専門分野：表象文化論、ドイツ語圏のメディア文化

Q 先生方は学生時代どのような夏休みを過ごされていましたか？

常石先生 激しい夏を過ごした経験として、ひと夏でフランス語の基礎文法を一からやった経験があります。

田中先生 アルバイトをたくさんし、貯めたお金で一人旅に行きました。一人旅は自分と向き合う時間ができるのでとてもいいですよ。貯めたお金で一人暮らしを始めた時、アルバイトでのパソコン作業がその後の人生や今につながっていてとてもいい経験でした。

堀川先生 ポート部に入っていて部活に打ち込みました。身体を大きくするスポーツなのでたくさん食べ、鍛えるために1・2年生の時はほとんど部活ばかりでした。ただ3年生以降は、大学院への進学を考えていたので毎日図書館に行って本を読んだり文章を書いたりしていました。

岩田先生 青春18きっぷを使って東京から実家のある大阪まで帰省したりしていました。まとまった時間がとれる学生だったからできたことです。

Q ご自分の経験から、学生にどんなアドバイスをされますか？

岩田先生 学生時代だからこそその夏休みの過ごし方があると思います。まとまった時間があるときにしかできないことをやってほしいです。本学の学生なら海外に目を向けて、なるべく多くのものを見てくれれば良いと思います。

Q 最後に、先生方から、勉強面で秋学期に向けてこんな風に過ごしてほしいという希望や提案などがありますか？

岩田先生 卒業後の世界に思いを馳せ、どうすれば自分らしく生きることが出来るか。それを考えるのは夏休みが適していると思います。

岩田先生 学期中に追われていけなかったことや復習が大事なので、ノートの見直しをしたり次の学期にむけて予習をやってほしいです。心に余裕がないと勉強を楽しいって思えないので、時間のある時に自分のペースで楽しくやってほしいです。

岩田先生 どういう仕事を選ぶかがその後の人生に大きく影響します。自分にあった仕事を選ぶようにしてほしい。今の時代は情報が多いだけに差がつく時代になっています。

岩田先生 昔は図書館に行って調べ物をしていました。今は検索すればすぐに出てきます。逆にいうと、求めてないと調べている人と差がつく厳しい時代なので頑張って興味のあるものをたくさん調べて欲しいです。

常石先生 ドイツ語学科はリベラルアーツ、つまり教養教育を大事にしていて、ひとつこれを研究したいというのを見つけた上で論文にすることを一つのゴールとしています。何に興味があり自分に合っているのかを探すにはある程度集中して時間をかけないといけないので、夏休みはそれを探すにうってつけの時間だと思います。

田中先生 4年間でこれを大学で学んだと言えるものを見つけ、追求して欲しい。例えば語学という観点

田中先生 時間があるからこそ、あえて、鈍行電車に乗ってじっくり旅行して日本の風景を楽しんでもいいし、海外の田舎などに行き、その国の人たちの姿を見てきてもいいと思います。その旅行は、不便な点もありますがいろいろな経験をすることで自分の成長につながると思います。

常石先生 先ほどひと夏で文法をやったとお話ししましたが、その後の1カ月はパリに行くことを決めていました。楽しいことを後に置いてもいいかもしれませんが。

堀川先生 部活に一生懸命打ち込むなど、身近な仲間たちと目標に向け、まとまった時間取り組むことができるのは学生時代の今しかないのではないのでしょうか。

堀川先生 勉強については色々なやり方がありますね。私の場合は1日中、図書館にいてゆったりとした気分で勉強していました。そこでの時間はいつも生産的なわけではありませんが、時間を気にせず本を読む、文章を書く、辞書を引くなどは、夏休みであればこそその時間の使い方だと思っています。

Q 本学学生に特化した夏休みの過ごし方はあるでしょうか？

岩田先生 獨協大学の学生にどんなイメージをお持ちかを踏まえてお聞かせください。

岩田先生 まじめであると思います。「語学の獨協」というだけあってグローバルな雰囲気が強みだと思います。言葉はコミュニケーションの根幹です。言葉を使って経済や専門の話をし、世界の人とコミュニケーション

でも、どこができてどこができないかを判断し、自分にあった楽しく勉強するやり方を色々試しながら見つけて欲しい。自分が楽しいと思える興味関心があるものにとことん向き合い、加えて考える訓練も怠らないでほしいです。また、時間の使い方を上手にすることが社会に出て必要な力です。

堀川先生 例えば、夏休み中にこの本はいつまでに読もう、と目標を定め、実行する力を学生時代につけておけば、社会に出てから大きな力になるだろうと思います。

堀川先生 部活などしていると、同じことをやってもこんなにもすごい人がいるんだと思う時があります。おそらく時間の使い方が違うことで結果が大きく左右されるんだと思います。これは勉強でも多分同じなので、自分に合ったやり方で計画を立て、よりよい結果を追求してみてください。

堀川先生 そのために、普段から余裕をもってスケジュールを立てるのがおすすめです。計画通りにいかなくても予定を入れ替えたり、お休みを入れたりと臨機応変に対応することが出来ます。

岡垣先生 貴重なお話を伺いできました。とても楽しい時間でした。先生方のお話を聞いて、自分の立ち位置を振り返って目標を立てたり、新しいことに挑戦してみようと思う学生がきっと増えると思います。どうもありがとうございました。



堀川先生

まじめで控え目な印象はありますが、レポート等ていい文章を書いてくるなど、魅力的な人が多いです。まじめさを活かすのであれば、学期中の授業や課題でふれたちょっと面白そうなことを、夏休み期間により詳しく学んでみるのはどうでしょう。これまでは与えられた課題をこなす、それが評価されるということに慣れすぎているいなかったか。社会に出ればそうはいきません。

常石先生

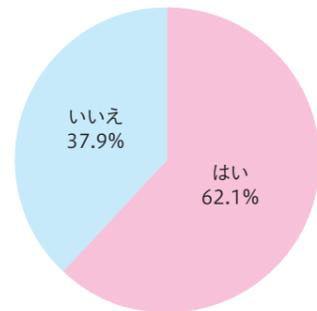
まじめな学生が多く、突出した学生は多くはない印象です。語学学習等に準備時間を取られることも一因かもしれません。例えば、私は映画を専門にしていますが、ミニシアターに関する発表をした学生がいたのでそのものがそれまでアンテナに引っかかっていなかった人が多い。ミニシアターに限らず、観劇や展覧会、あるいは好きな作家のトークショーなど、ちょっとした好奇心に突き動かされて行ってみるといいことがあってもいい。タガを外して、普段やらないようなことを夏の間にやってみると人生の核のようなものを見つけれられるかもしれません。

田中先生

ニケーションがとれることが重要です。獨協大学は語学を学ぶのには、うらやましいほどの環境にあるので是非たくさん勉強して欲しいです。謙虚すぎるどころがあり、もっと前に出てほしいかなと思います。時代の変化がこれから早まると思いますが、この変化に対応する力をどうやってつけるか。これは豊富な経験がものを言うと思います。夏休みにしかできないことをぜひ経験して欲しいです。

留学

留学に行きたいと思いますか？



どこの国に行きたいですか？

1位	カナダ	12%
2位	アメリカ	11%
3位	ドイツ	10%
4位	オーストラリア	9%
5位	イギリス	7%
	その他	51%



カナダの大自然

留学インタビュー

国際関係法学科3年 東呉大学(台湾)に1年間留学中

留学に行こうと思ったきっかけを教えてください！

高校生の時に、カナダに留学して感じた衝撃が大きくて、長い時間が取れる大学時代に1年間行ってみようと思いました。

どうして留学先を台湾にしたのでしょうか？

他の人とは違う自分だけの強みを得ようと、世界で一番話されている中国語を第二外国語として履修しました。中国語を活かした留学をしようと考え、台湾に決めました。



台湾での生活を教えてください。

東呉大学で語学を学びつつ、現地の友達を作るために、大学のテニス部の練習に参加しています。休日は、現地の友達とグループで行動するので、観光客は絶対に行かないような地元の人のみがあるスポットに行くことができました。もちろん日本人の観光客も多い、『千と千尋の神隠し』の舞台となったと言われる九份にも行きましたよ。

留学して成長したなと思うところはありますか？

コミュニケーション能力が上がったかなと思います。現地の友達と皆で飲みに行ったり、旅行したり、部活動で絆を深めたりと、言葉にするのは難しいですが、語学以外のフィーリング的なコミュニケーション能力が培われたのかなと思います。

最後に、留学を考えている人に向けて何か一言あればお願いします！

少しでも留学を考えているのであれば、行った方がいいです！言語や生活が日本と異なるので、大変ではないと言えば嘘になりますが、それでも留学をする事で、それ以上のかけがえのない経験を手にする事ができると思います。この記事を見て、行って見て、自分自身で何かを感じ取ってもらえると嬉しいですね。

ゼミ

所属しているゼミについて教えてください。

経済学部 高安健一ゼミ 「SDGs時代の開発経済学」

経済学部の高安健一ゼミでは、民間企業の資源を利用して途上国の人々の生活を改善する開発経済学を学んでいます。ゼミ生は、3年次に取り組む「課題解決型プロジェクト学習(PBL)」で、学び続ける力を身に付けます。近年では、国連のSDGsや草加市の地域活性化に関連したプロジェクトを多数推進しています。調査研究成果を、SNS、メディア出演などを通じて地元積極的に還元しています。



法学部 鈴木淳一ゼミ 「AIを用いたパンデミック条約制定の模擬国際会議」

私たちのゼミでは国際法の研究をしています。具体的には、WHO総会のシミュレーションを通してニュースで取り上げられているグローバルな感染症対策について深く知ろうというものです。会議では、ゼミ生がいくつかの国に分かれ、自分の担当する国について調べた上でAIの支援を受けながらオリジナルの条約を協力して制定します。世界各国の問題に関心がある人、グループワークやディベートが好きな人にオススメです！



学生記者企画 獨大生の日常

獨大生に、学業やプライベートについてアンケート調査を行い、226名から回答をいただきました。さらに、学生3名の方に学生記者が取材をしてきました。

外国語学部 佐々木輝美ゼミ 「コミュニケーションの効果・影響に関する研究」

コミュニケーション効果論を扱う当ゼミでは、効果に関する諸要因を扱い、各自のゼミ論テーマを深めていきますが、とくに自己や対象物と向き合うことを重視します。その一環で、ポイトレや活け花を通じてのマインドフルネスも体験します。個性的な仲間との相互評価や、利他性の高い究極のコミュニケーションを学べる点が誇れる部分です！



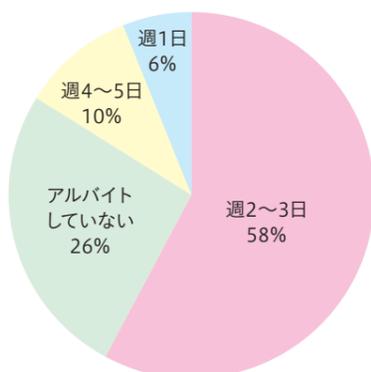
国際教養学部 小宮秀陵ゼミ 「東アジアの中の韓国文化」

基本的に、韓国語の著書輪読書評や自分が気になるテーマを決めて、そのテーマの参考となる韓国語の論文を探し、日本語で要約と考察を書くことをしています。輪読を通して、韓国語読解能力と要約の書き方、論点をとらえる力、卒論を書く練習になる取り組みを行っています。そのほか、今年から再開する自由参加の演習合宿として、韓国へ行き現地の大学生と交流なども予定されています。



アルバイト

アルバイトを週何日していますか？



どんなジャンルのアルバイトをしていますか？

1位	飲食	36%
2位	レジ・販売	23%
3位	塾講師	20%
4位	イベント系(結婚式、遊園地等)	6%
	その他	15%

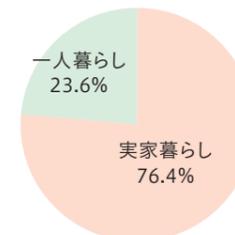
アルバイトをしている学生にインタビュー

大学入学時に教職課程を取ることを目標としていたので、アルバイトは塾講師を希望していました。週2回、80分を2コマと英語、国語、数学を中高生対象に教えています。塾講師の一番のやりがいは、生徒が定期テストで前回よりも点数が上がった時に、嬉しそうに報告してくれること。塾の雰囲気もアットホームで、同世代の人も多くて話しやすく、とても良い環境です。また、講師たちが生徒一人一人に真剣に向き合っているので、周りからも刺激をうけ、日々自分自身学ぶことがあります。(英語学科3年)



アンケートへのご協力ありがとうございました。

実家暮らしですか？
一人暮らしですか？



一人暮らしで大変なこと、つらいことは？

- ・料理、掃除、洗濯など家事全般
- ・家事と大学、バイトを両立させること
- ・お金の管理
- ・虫退治(虫が出たらこの世の終わり)
- ・病気になった時
- ・孤独感
- ・帰っても誰も「おかえり」と言ってくれないこと

出身地自慢を教えてください。

- ・茨城県 果物と野菜がどこの県よりも安くて美味しい。
- ・栃木県 いちごが有名でとてもおいしい。
- ・富山県 魚がとても美味しく、名前の通り美しい山々があるのが自慢。
- ・長野県 水道水がおいしい。空気もおいしい。そばがおいしい！
- ・岡山県 クリスマスの駅前の桃太郎像が面白い。
- ・山口県 吉田松陰、木戸孝允、高杉晋作、伊藤博文、明治維新で日本を変えたスゴイ人たちの出生地。
- ・福岡県 何もなければ何でもある県。

一人暮らしをしている学生にインタビュー

私は福島県いわき市出身です。いわき市には海があり山もあり、温泉もあります。東北という理由で田舎だと思われがちですが、中核市ということもあってほどよく街が発展しています。東京への交通アクセスもいいです。また、常磐という炭鉱で栄えた地域があります。「一山一家(いちざんいっか)」の精神のもと、みんなで力を合わせて地域を発展させてきました。常磐には現在、「スパリゾートハワイアンズ」という大型レジャー施設があります。プールが有名なので、ぜひこの夏遊びに来てください！(経営学科2年)



一人暮らし



キャリアセンターオススメ! 「夏休みの過ごし方」

キャリアセンター職員
さん

キャリアセンター職員
さん

夏休みを利用して進路について考えてみませんか? “大学卒業後の進路”はいつ考え始めればいいのか、そのためには何が必要なのか、わからないことがたくさんあると思います。そこで今回は、獨大生が進路を考える際に強い味方になってくれる、キャリアセンターのスタッフに今からできるオススメの「夏休みの過ごし方」を取材しました!

Q. 一般的に卒業後の進路はいつ頃から考えると良いのでしょうか?
「情報を仕入れる」という意味では、3年生の4月から考え始めるのがおすすめです。夏のインターンシップが現在の就職活動で大きな役割を果たしているため、逆算するとこの時期になります。ただし、在学中に留学を検討している場合や、公務員への就職を考えている場合は更に早めに考えはじめるとう良いです。

Q. 1・2年生から準備を始めずに間に合うのでしょうか?
1・2年生はまず学生生活を充実させてほしいです。結果として、それが就職活動でのアピールにつながります。3年生は就職活動の準備が始まり、忙しくなってくることを考えると、1・2年生のうち学生生活を充実させることで将来的に自身の人となりや表現を上手にできるようになります。今関心があることを一杯頑張ってください。

Q. インターンシップとは、いったいどんなものなのでしょうか?
社会に出る前に仕事を体験できるものです。大学受験の際にオープンキャンパスに参加したと思いますが、そのイメージで企業の見学や体験を通じて自分に合うかどうかを感じられます。開催日数、内容、選考の有無も企業

によって様々で、多くの選択肢の中から自分で選んで応募します。自ら情報収集し、行動する力が重要です。獨大生の3年生からも関心が高く、「どんな企業に、何社くらい応募すればいいですか?」という相談が増えています。

Q. 就職活動では何が評価されるのでしょうか?
基本となるのは人間性です。「あなたはどのような人?」という設問に対し、言葉で人となりや伝えたい学生からの相談を通じて、とてもいい魅力を持っているのに自分に自信がない学生が多いという印象があります。話を聞くと、面白い経験や、魅力的な長所を持っている方がたくさんいます。例えば、「自炊をした」というエピソードでも、ダイエットが目的か、節約が目的か、目的によって伝わる人柄が異なります。なぜやろうと思ったのか、どのように頑張ったのかを言語化する中で自然と評価につながりますので、自分に自信を持ってほしいです。もし、自信が持てない場合は、キャリアセンターに来てもらえれば既に持っているものを輝かせることができます。

Q. 今から進路について考えるとき、まずは何からすればいいのでしょうか?
逆算をしてほしいです。目標の大小は問わないので、目標に向けていつまで何ができればいいかを考えると、今

必要な情報や行動がおのずと見えてきます。現段階では多くの方が進路について「何がわからないかが、わからない」という状態だと思います。「何から始めたいですか?」という相談がキャリアセンターでは最も多いので、悩んだらまず気軽に相談してください。

Q. 夏休み期間、学生たちにとっての過ごし方について
3年生は、社会に関心を持ってほしいです。新聞を読む、身近な人の仕事について聞いてみる等あまり難しく考えずに情報収集してください。これらをきっかけとして夏のインターンシップに参加してみるのも大切です。また、1・2年生の時に挑戦しきれなかったことがあれば、この夏休みにぜひチャレンジしてほしいです。

1・2年生は大学でやりたいと思っていたことに挑戦してほしいです。就職活動を意識しすぎず、まずはやってみること。そして、可能であれば「この目標に対して、これをやってみよう」と言語化してみると良いと思います。目標を話す場や、進捗報告をする場としてキャリアセンターを使ってほしいです。

夏休みはキャリアセンターが比較的空いているので、ぜひ一度来てほしいです。



卒業生に仕事についての喜びや、獨大生に向けてのメッセージを語っていただきます。

やりたいことは すべて取り組み、 「カッコいい大人」を 目指します。

株式会社メディックス チーフアカウントプランナー
さん

(2019年度 経済学部 国際環境経済学科卒業)

私はデジタルマーケティングの総合コンサルタントを行う会社で企画営業職として働いています。Instagramのストーリー広告をはじめとするSNSや動画配信サイト、WEBブラウザに掲載される広告のコンサルティングを行っており、現在は自分の案件を担当しながら、チーフとして4名のメンバーの育成を行っております。

就職活動の際に考えた目指すべき理想像として「カッコいい大人になりたい」という軸がありました。私なりの「カッコいい」の定義は自分の総合力を上げるために成長し続けられることです。その環境があるかどうかを重視して今の会社を選びました。

私の仕事は絶対的な答えがないので、「物事の本質を考える」ことを大切にしています。クライアントの課題を俯瞰し、本質が見極められるかが重要だと考えています。クライアントの期待に+αで応える事が求められる決して簡単ではない仕事ですが、それがむしろやりがいにつながっています。自分を成長させていると思っています。自分の考えた提案を元にプロモーションを行った結果クライアントの成果に繋がった時は達成感を感じますし、そのために常に情報にアンテナをはることで、一般消費者の目線を忘れないためにも、流行が「なぜ」流行しているのかを想像するようにしています。

在学中は、「学生時代にしかできないことをしよう」と決めていて、やりたいと思ったことはやり切りました。

学業にしっかり取り組むことはもちろん、夏休みも含めた学生生活の中で「体験」に時間を使うようにしていました。通学時間で授業の予習復習を済ませてアルバイトや海外旅行、インターンシップに参加したりと持っている時間を上手く分配できるように工夫していたと思います。

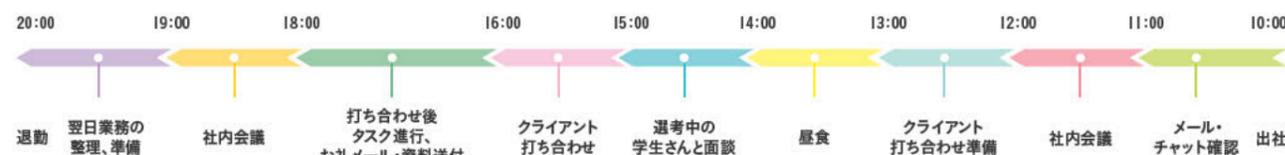
4年間主体的に取り組んだことが、今の私の土台となっています。例えば、英語以外にもスペイン語や韓国語の授業を履修しましたが、外国語学部の方が多くとても刺激的でした。知らない環境でも挑戦したからこそ出会えた友人もたくさんいますし、授業で先生に質問に行ったら熱心に答えてくださるなど、自分から動くことで道が開けることを学びました。社会に出てからも主体的に動く姿勢を評価いただけることもあるので、振り返るとオンラインキャンパスならではの環境を最大限生かしたと思っています。

在学生のみならず、やりたいと思ったことには貪欲に、学生生活を楽しんでほしいです。

獨協大学が良い大学と社会から評価されている要素の1つに、「獨協大学の学生、卒業生って素敵な人が多いよね」という個への評価が少なからずあると思います。就活時や社会に出てからも会社や学歴という肩書が影響することもありますが、最終的にはあなた自身という「個」の評価をされます。自分の価値を確立するためにも、学生時代に自分のやりたいことを全力で取り組んでほしいと思います。やりたいことがないという方もいると思いますが、それはまだ見つかっていないだけかもしれません。少しでも心が動いた出来事があれば、「それはなぜか」と自分の行動をさかのぼることが、自分のやりたいことを見つかるヒントになると思います。その年の大学生にしかできないことは必ずあります。後悔することのないよう、自分なりの色を見つけてもらえたら嬉しいです。



戸津さんのある一日のタイムスケジュール



夏季休業期間の窓口業務【8月2日(水)～9月23日(土)】

一斉休業期間(全窓口閉鎖)8月10日(木)～8月16日(水)

■事務局(土・日・祝は休)

平日 9:00～17:00(昼休み12:00～13:00)

■東棟ヘルプデスク、コンピュータ教室、西棟ラーニングスクエア

7月31日(月)～9月24日(日)閉室

■CLEAS(クリアス)中央棟1階、天野記念館2階窓口、ICZ

開室時間については、教育研究支援センターホームページの「開室カレンダー」を参照してください。



■図書館(日・祝は休)

8月1日(火)～9月23日(土)9:00～18:00

最新情報は、図書館ホームページの「図書館カレンダー」をご覧ください。



■トレーニングルーム

夏季休業期間も開室しています。開室日時については、以下のTwitterアカウントを参照してください。

「Training Room」(@Dokkyo_TR)



■学生食堂、スタイルカフェ、スタイルカフェスタンド、キッチンカー

7月22日(土)～9月24日(日)休業

※7月17日(月)は海の日、7月18日(火)は補講日のため休業。

■教職員食堂(中央棟2階)

7月22日(土)～9月24日(日)休業

■セブンイレブン

営業日 月～土曜 営業時間 平日 8:30～17:00 土曜 8:30～15:00

■ぶっくぎやらしいDUO

営業日 月・水・金曜 営業時間 10:00～15:00

■サービススポットDUO

・専門学校受付等(株式会社デュオ)
営業日 月～金曜(水曜休) 営業時間 10:00～15:00
・アパート紹介コーナー(株式会社かおる不動産)
営業日 火曜のみ営業 営業時間 10:00～13:00

■同窓会事務局

月～金曜 9:00～17:00 保険関係 10:30～16:00(水曜休)

講演会

第7回図書館講演会

「作者」の肖像画

— 獨協大学所蔵『ガリバー旅行記』初版の謎をさぐる —

■日時:7月12日(水) 15:30～17:10

■講師:前沢 浩子 教授(外国語学部英語学科)

■場所:図書館3階 図書館情報セミナールーム (A-308教室)

■対象:本学学生・大学院生・教職員・オープンカレッジ受講生・卒業生など本学図書館を利用できる方
※事前申込不要(先着60名)



1726年、『ガリバー旅行記』がロンドンで出版されました。「作者」はリュミエル・ガリバー。肖像画も付されています。その肖像画は版によって微妙に違っていますが、もちろんガリバーは架空の人物で、本当の作者はジョナサン・スウィフトです。ガリバーの肖像画を手がかりに、18世紀イギリスにおける小説の意義を考察します。

訃報

長谷川 欣佑(はせがわ・きんすけ) 2023年3月31日 老衰のため死去、88歳
名誉教授 1995年 教授
1999年 外国語学研究所委員長
2005年 名誉教授

ウクライナの留学生が房総横断乗車体験

5月14日(日)、ウクライナからの留学生2名が、房総横断乗車体験に招待された。

本学では、キウ国立言語大学との協定締結に基づき、人道的見地から安全な生活と学習の環境を失ったウクライナの学生を2022年9月より受け入れている。今回、いすみ市国際交流協会、JR東日本ネットワーク千葉(JR東日本千葉支社、小湊鐵道、いすみ鉄道)のご厚意により、留学生たちに、乗車体験を通じて房総地域の魅力を知ってもらい、日本とウクライナの友好を図ること等を目的に房総横断乗車体験等にご招待いただいた。

留学生たちは、本学の日本人学生とともに、海辺の見学や、房総横断乗車体験等を通じて地域の方々との交流を楽しんでいた。



授業評価

2023年度春学期

「学生による授業評価アンケート」にご協力ください

詳細は、PorTaII → 「ダウンロードセンター」 → 「学生用フォルダ」 → 「授業評価(教育改善)アンケート」の資料をご確認ください。

期間:7月3日(月)～7月23日(日)

対象:全学生

回答方法:PorTaII上で回答(履修している全科目について回答してください)

所要時間:約30分

問合せ先:自己点検・評価室(6棟1階)

TEL 048-946-1824 E-mail jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

9月卒業式・学位記授与式

■日時:9月20日(水)10:00～(入場開始 9:30)

■場所:天野貞祐記念館 大講堂

※式典後の各卒業生への学位記授与は、学部別に別室にて行います。

※学部別の学位記授与終了後、祝賀会を学生食堂で行います。

※式典へはご家族及び保証人は2名まで出席が可能です。

※卒業生は、当日学生証をご持参ください。

感染症等の影響により式典の内容が変更となる場合があります。詳細は改めてPorTaIIおよびホームページでご確認ください。

募集

大学院進学ガイダンス(研究科別説明会)参加者募集

■法学研究科 7月6日(木)13:00～、11月9日(木)13:00～

■外国語学研究科 7月5日(水)13:00～、11月8日(水)13:00～

■経済学研究科 7月4日(火)13:00～、11月7日(火)13:00～

※大学ホームページ「大学院進学ガイダンス開催」

案内ページよりお申込みください。(要事前予約)。



2024年度入学試験日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表
I期入試 (修士前期課程のみ)	8月28日(月)～9月6日(水)	9月30日(土)	10月5日(木)
II期入試	1月9日(火)～1月17日(水)	2月11日(日・祝)	2月15日(木)

問合せ先:大学院事務室事務課

TEL:048-946-1666 E-mail:daigakuin@stf.dokkyo.ac.jp

財政開示

獨協大学及び獨協学園の財政開示について

獨協大学及び獨協学園全体の財政状況は、7月中旬に大学ホームページで開示します。

こちらをご覧ください。

URL <https://www.dokkyo.ac.jp/about/finance/>



学費

学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を<銀行振込>から<口座振替>に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご利用ください。

【Web口座振替受付サービスの概要】

- ★ Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要)
- ★ 口座振替日:春学期4月12日、秋学期9月12日
- ★ 8月20日までにお手続きいただければ秋学期の学費から口座振替となります。
- ★ 手数料は大学負担です。高等教育の修学支援新制度にお申し込みの方は、口座振替をご利用いただけません。



Web口座振替受付

行事報告

5、6月の主な開催行事報告

開催日	行事	
5月18日	LUNCH POEMS @ DOKKYO	主催:外国語学部英語学科
5月20日	サタデーキャンパス見学会	主催:入試課
5月27日	父母の会総会	主催:父母の会
5月31日～6月3日	第50回創造祭	主催:創造祭実行委員会(文化会本部)
6月3日	【高校教員対象】2024年度入試制度説明会(対面・オンライン併用開催)	主催:入試課
6月7日	島村菜津氏講演会「イタリア、エシカルの旅～新時代の観光の可能性」	共催:外国語学部・国際交流センター
6月11日	オープンキャンパス	主催:入試課
6月11日	第20回国際交流フェスティバル2023「草加国際村一番地」	主催:草加市国際交流協会 共催:獨協大学
6月17日	第13回公開講演会「日本に複言語主義は必要か?—ヨーロッパとの対比で—」	主催:外国語教育研究所



最新のニュースはこちら

ぶらりらいぶらり

Vol. 107

データベースで 身近なトピックを調べてみよう



データベースは、レポートや論文を書くための文献探しはもちろん、身近なトピックを調べる検索ツールとしても役立ちます。そこで今回は、調べものに役立つデータベースを2つ紹介します。まだ使ったことがないという方も、ぜひ活用してみませんか?

①Galeグローバルスタディーズデータベース

■国際社会を多角的に理解するためのコンテンツが満載。

■雑誌・新聞・マルチメディアなど、様々な媒体からの情報をまとめて検索することができます。

■賛否両論併記で内容を吟味することもできるので、広い視野で物事を見る力がつきます。

②Statista

■世界の市場調査や消費者動向に関するデータを提供する、ドイツ発のプラットフォーム。

■統計データはExcelやPowerPoint形式でダウンロード可能。レポートや論文の資料作りに役立ちます。

■英語・スペイン語・ドイツ語・フランス語の4か国語に対応しているので、語学力アップにもつながります。

図書館HP ▶ 図書・資料を探す ▶ データベース一覧 からアクセス!



【こんなトピックを検索できる!】

スポーツと外交、動物の権利、世界のフェイクニュース、世界のプラスチック廃棄物etc.

【こんなトピックを検索できる!】

日本人のチョコレートの年間消費量、アメリカ人の1日当たりの平均読書時間、フランスで1年間に公開されたアニメーション映画の数etc.

データベースの使い方でわからないことがあれば、レファレンスカウンターまでお気軽にご相談ください

本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報

山本 裕(経済学科教授)分担執筆
『満洲国以後 中国工業化の源流を考える』
名古屋大学出版会 2023年2月 5800円



大日本帝国統治時代の「満洲」から戦後の混乱と破壊を乗り越え、社会主義化の最前線にして最大の生産拠点へと成長を遂げた中国東北地方。その大都市の内外地で帝国の「遺産」が時代をこえて再編されるプロセスを、改革開放後の姿も視野に、実証しています。

四元 康祐(言語文化学科非常勤講師)著
『ダンテ、李白に会う
— 四元康祐訳訳集古典詩篇』
思潮社 2023年3月 2400円



リルケ、ディキンソン、ダンテ、杜甫、李白など……言語の壁を超えて詩を探る旅を導く一冊。古今東西の詩人たちの深層を手さぐりし、そのポーズを、思い切った跳躍で「今」の日本語に響かせる翻訳詩集です。

立田 ルミ(名誉教授)編・著
堀江 郁美(経営学科教授)、李 凱(経営学科准教授)著
『実践に役立つ情報処理
— 基礎から応用まで — 2023年度版』
日経BP 2023年3月 1900円



大学生向け情報処理の教科書です。パソコンやOfficeアプリケーションを授業課題や問題解決に、いかに活用するかという実践的な観点で解説。HTMLやCSSによるWebページ作成やプログラミングの基礎も学べます。

神馬 幸一(法律学科教授)分担執筆
『刑法各論判例インデックス(第2版)』
商事法務 2023年3月 3400円



刑法各論分野の理解に欠かせない判例の学習を助ける、コンパクトな解説書の第2版です。見開き2頁で重要判例の事実関係・法的争点を整理し、ビジュアル化しているため、刑法各論の入門から知識の整理・深化まで、多くの学習者のニーズに応えます。

山田 洋(法律学科教授)共著
『現代行政法入門(第5版)』
有斐閣 2023年3月 2700円



行政法学習における基本事項を厳選し、明快かつ簡潔に解説する定番テキストの第5版。「コラム」「ケース」の中で「発展問題」などで、段階的・発展的な学習も可能です。前版刊行後の法改正等に対応したほか、新たな重要判例等も広くフォローしています。

安原 陽平(法律学科准教授)分担執筆
『現代教育法』
日本評論社 2023年3月 3000円



子どもの貧困や学校事故、学問の自由といった今日的課題を手がかりにアプローチする教育法学的意欲的教科書。教育や子どもの権利における危機的状況を、教育法に関連する様々な分野から分析。基本に立ち返って展望を示す一冊です。

木藤 茂(総合政策学科教授)分担執筆
『行政の実効性確保法制の整備に向けて
— 統一法典案策定の試み —』
民事法研究会 2023年3月 5800円



長らく整備が立ち遅れてきた行政の実効性確保をめぐる法制度について改革の具体像を提示する一冊。法制的検討を加えた要綱案とその解説のほか、科研究費プロジェクト参加メンバーによる諸論稿を収録しています。

白川 貴子(交流文化学科非常勤講師)訳
(イバン・レビラ著)
『深い穴に落ちてしまった』
東京創元社 2023年4月 700円



森の奥で深い穴に落ちたある兄弟。彼らは木の根や虫を食べつつ、地上を思い生き続ける。やがて弟は現実と幻想が渾然となった世界を見始め……素数のみの草番号や幻覚の中の暗号など、寓意に満ちた驚愕と感動の物語です。

網谷 壮介(法律学科准教授)分担執筆
『歴史を書くとはどういうことか
初期近代ヨーロッパの歴史叙述』
勁草書房 2023年6月 4500円



19世紀に誕生する実証主義的な歴史学以前、初期近代のヨーロッパにおいて歴史を書くことはどんな意味を持ったのでしょうか。モンテスキューやルソー、アメリカ建国の父ら、思想家の歴史叙述に着目した論文集です。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

全学ライトダウンプロジェクト実施中! 省エネ・省CO₂にご協力ください。

獨協大学では、省エネ・省CO₂への取組として、ライトダウンプロジェクトを実施しています。昨年12月1日より、授業期間中の平日昼休みに、学生団体「ライトダウン実行委員会」がA棟、E棟、W棟を見回りして、教室の電気を消して節電を呼びかけています。また、廊下などの共用部も消灯しています。

2022年度の実測に基づく予測では、授業期間中の平日昼休み時間にライトダウンを実施することで、年間8t-CO₂(約50万円)の省CO₂が実現できます。教室を利用する学生の皆さん、教職員の皆さんは、授業終了後および昼休み時間のライトダウンと、適切なエアコンの使用をお願いします。

ライトダウン実行委員会 & Earth Week Dokkyo実行委員会 後援: 省エネルギー推進に関する専門部会



読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



2022年度

教育環境改善のための取り組みについて

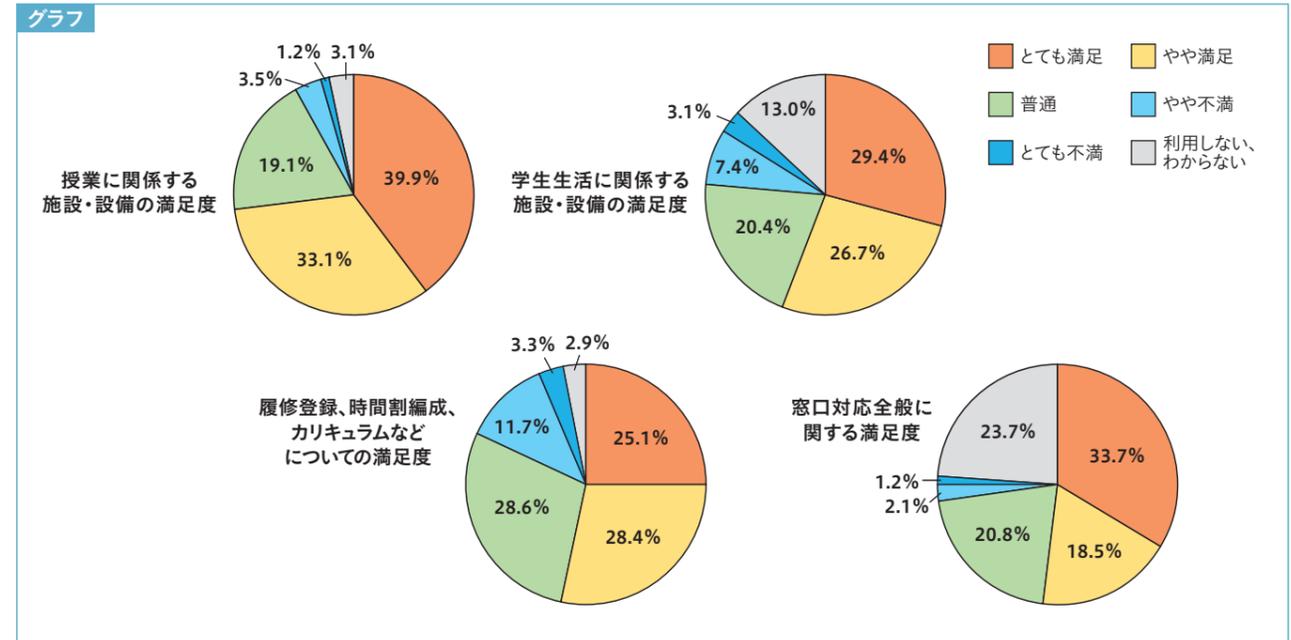
獨協大学では、教育環境改善のために毎年「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施しています。2022年度教育環境改善の取り組みおよび2022年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。

【2022年度教育環境改善の取り組み】

- 授業関連施設
 - ・天野貞祐記念館4階教室と5階の共用部分、国際交流センターの空調更新を実施しました。これにより、快適性の向上と、更なるCO₂の削減が可能となるものと考えています。
 - ・図書館については、感染予防対策の特別ルールのもと、8月より、共同学習室・グループ利用席・図書館情報セミナー利用の再開しました。
 - ・ICZ(International Communication Zone)では、入口にイベント情報を提供するデジタルサイネージを設置しました。また、言語圏をより意識できるように装飾を整えました。
- 学生生活施設
 - ・2022年6月に実施した「ランチタイム充実に向けてのアンケート」の結果を踏まえ、秋学期から学生センター「スタイルカフェ・スタンド」でパンやお菓子の販売、西棟1階ロビーで弁当販売を始めました。
 - ・学生食堂では、秋学期から麺類の販売を再開するとともに、防災カレーやクレープなどの特別メニューの日を設けたり、化粧品サンプル配布などのイベントを行ったりしました。2023年度もメニューの充実とともに、楽しいイベントの実施を計画しています。
 - ・Twitter「獨協キャンパスグルメ」で、学生食堂の月間メニューやイベントの紹介、キッチンカーのおすすめメニューや臨時休業のお知らせを行っています。ぜひフォローをお願いします。
 - ・獨協大生対象の安全性の高いアルバイトをネット上で紹介するサービスを始めました。利用希望者は、大学HP(「学生生活」>「アルバイトの紹介」)を確認し、事前登録をしてください。
 - ・学生センターでは、6部屋のスタジオを稼働させました。

【2022年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】

- 実施概要
 - 7,829名(学部生、大学院生、聴講生など)を対象にPorTaIIで実施しました。回答率は約6.2%で486名から回答いただきました。
- アンケート結果概要
 - 各設問に対する回答者全体の満足度の結果は、**グラフ**の通りです。結果については、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。
<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>



Cover Story

さん
法学部法律学科3年

『Do! 獨協大学ニュース』7月号の表紙に登場してくれたのは、第59期雄飛祭実行委員会で実行委員長を務める松本進之介さん。実行委員長として、雄飛祭開催に向けての職員との会議や、そこで得た意見を基にした資料作成、雄飛祭を支援していただいている企業の方との話し合い、地域の方々との交流など、多岐にわたる活動を行っています。

「今まで以上に大規模な雄飛祭を開催し、雄飛祭を通じて来場者や地域の方々、そして学生並びに教職員の方々にも年に一度の特別な時間と空間を提供したい」と今回の意気込みを語ってくれました。



Photo by Kaoru Fujimoto

第59回雄飛祭 開催日程:11月4日(土)・5日(日)

主なイベント:ゼミによる研究発表、Dokkyo Glanz Contest 2023、学生による模擬店での飲食物販売、学生による演技演奏等の発表、ダンスパフォーマンス、音楽ライブ、ミュージカル公演、お笑いライブ、チアリーディングパフォーマンスなど

獨協大学学生サポート寄付金事業報告 寄付申込者ご芳名(2022年12月1日~2023年5月31日)

2022年12月1日より開始しました「獨協大学学生サポート寄付金」の募集につきまして、2023年5月末日までのご寄付のお申し込み状況をここに報告いたします。ご寄付いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

■申し込み件数(延件数):106件 ■総額:12,254,500円

■寄付者ご芳名
(個人)



獨協大学学生サポート寄付金 募集協力をお願い

本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、校友会活動、自律学習など、学生の活動全般を広く永続的に支援することを主眼としています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。
※クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、インターネットバンキング(Pay-easy)、銀行振込等をご利用いただけます。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。



<https://www.dokkyo.ac.jp/donation/>
※法人の方は直接お問合せください。
所管 獨協大学総合企画課 048-946-1635

編集	総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp			
学生記者	秋元 杜馬(営3年)	跡部 雄太郎(総4年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独4年)	大久保 賢斗(営2年)
[五十音順]	岡田 陽依(英3年)	尾木 草輔(律4年)	片柳 月奈(言2年)	金子 愛美(英2年)
	金田 夏実(律2年)	狩野 有輔(英3年)	黒木 健登(律2年)	斉藤 駿斗(律3年)
	齋藤 史空(英3年)	佐藤 有恭(律4年)	佐藤 雪絵(仏2年)	柴田 爽世(英2年)
	島田 瑠里香(済2年)	庄司 光希(総3年)	蘇 キンギョク(英2年)	高橋 来未(関1年)
	田中 風羽(英2年)	土田 優衣(営2年)	土屋 日花莉(律2年)	原 友里恵(英3年)
	藤崎 ゆな(営3年)	古川 大翔(英3年)	古谷 一真(交3年)	星野 空亦音(言1年)
	柳澤 真理子(営2年)	吉見 麻菜(済4年)	渡邊 帆風(営2年)	

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済
営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>

次回は11月号(11月1日発行予定)です

Do!

獨協大学ニュース

2023.SUMMER
7月号
VOL.481

©獨協大学2023 / 獨協大学 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 / 年4回発行